

## 平成26年度木津川市一般会計 補正予算第1号について（概要）

総務部財政課

平成26年度補正予算第1号は、国・府の制度改正に対応しつつ施策の充実を図るための予算や、緊急に対策を講じる必要があるものの予算を中心に計上するものである。

### 予算案の主な概要

#### 1 補正予算の規模

補正前	267億6,200万0,000円
補正額	8,443万3,000円（0.3%増）
補正後	268億4,643万3,000円

#### 2 予算の内容

##### 【主な歳入】

##### ◎府支出金

老人医療助成円滑対策事業費府補助金	2,421万1,000円
京都府風しん予防接種助成事業補助金	51万6,000円

##### ◎諸収入

コミュニティ助成事業助成金	310万円
---------------	-------

##### 【主な歳出】

##### ◎国・府の制度改正、施策の充実

コミュニティ事業補助金	310万円
老人医療給付制度臨時特例事業費	2,421万1,000円
風しんワクチン予防接種助成費	103万4,000円
農地・水保全管理支払交付金事業費	149万円増
育英資金交付金	42万円増
相楽通級指導教室分室の新規開設	80万円

◎緊急に対応が必要な取組

木津かんがい排水事業の水収支計画等作成	870万円
木津合同樋門内水対策工事費	870万円
京都府防災訓練実施に向けての環境整備	726万円
木津学校給食センター調理員派遣委託	2,484万1,000円

平成26年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
所 管	市長公室 学研企画課					
事 業	101	企画事務事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	7章2【まちづくりへの参画と協働の創造】 市民と行政のパートナーシップの推進					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	1,488					1,488
補 正 額	2,400				2,400	
補 正 後	3,888				2,400	1,488
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	コミュニティ事業補助金:2,400千円皆増 財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、自治会の備品整備を図る。 (不二荘園自治会分:1,300千円、橋本町町会分1,100千円)					
主 な 特 定 財 源	コミュニティ助成事業助成金:2,400千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	重要施策の調査、研究及び企画立案などを行う。					
市 民 参 加 の 状 況	行政運営における透明性の向上と市民等に対する説明責任を果たし、市民参加型の公平公正で開かれた市政の実現を目指す。					
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人医療費
所 管	保健福祉部 国保医療課					
事 業	957	老人医療助成事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	154,393		75,051			79,342
補 正 額	24,211		24,211			
補 正 後	178,604		99,262			79,342
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	審査支払手数料:450千円増(3,626千円)、電算システム改修負担金:211千円皆増(国保連合会に対するもの)、 老人医療給付費:23,550千円増(169,041千円) 国の制度改正を受け、京都府老人医療給付制度に係る臨時特例事業(平成26年度限り)として、平成26年度中に新たに70歳になる方の医療機関における窓口負担を2割から1割に軽減する。					
主 な 特 定 財 源	老人医療助成円滑対策事業費府補助金:24,211千円皆増 ※補助率10/10					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	老人の健康の保持と保健の向上に寄与するため、医療費(保険診療分)の一部を助成することにより、福祉の増進を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

平成26年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
所 管	保健福祉部 健康推進課					
事 業	1305	予防接種事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	206,061					206,061
補正額	1,034		516			518
補正後	207,095		516			206,579
補正予算額の 主な内訳	風しんワクチン予防接種助成費:1,034千円皆増 平成25年度に引き続き、京都府風しん予防接種助成事業を受け、妊娠を希望する女性等が風しんワクチンを接種する費用の一部を助成する。対象者:①妊娠を希望する女性であり、かつ抗体検査等により抗体価の低いもの。②妊娠をしている女性の同居者で、抗体検査等により抗体価の低いもの。ただし、妊娠をしている女性の抗体価が低い場合とする。					
主な特定財源	京都府風しん予防接種助成事業補助金:516千円皆増					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	妊娠初期に風しんに罹患すると風しんウイルスが胎児に感染し、出生児に「先天性風疹症候群」と総称される障害を引き起こす恐れがあることから、風しんワクチン接種に要する経費の一部を助成することで安心して妊娠・出産できる環境づくりを進める。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費
所 管	建設部 農政課					
事 業	1597	木津かんがい排水事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	5,050				1,500	3,550
補正額	8,700					8,700
補正後	13,750				1,500	12,250
補正予算額の 主な内訳	測量・設計委託料:8,700千円増(13,700千円) 木津かんがい排水事業に係る木津用水の水利権(河川法第23条及び24条許可)の更新に伴い必要となる水収支計画の作成等業務を委託する。(水収支計算、水利権更新申請図書及び更新関係資料の作成)					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	木津川の用水を6か所のため池及び直接農地へ供給することにより、現在使用されている農業用水の希釈水質改善を行い、併せて水管理システムを導入することで農業の省力化と合理化を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費
所 管	建設部 農政課					
事 業	2778	農地・水保全管理支払交付金事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】 地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事業期間	平成24年度～平成28年度			新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	7,617		159			7,458
補正額	1,537		47			1,490
補正後	9,154		206			8,948
補正予算額の 主な内訳	事業費支弁需用費:47千円増(207千円)、農地・水保全管理支払交付金事業負担金:1,490千円増(8,931千円) 農業生産を営むために不可欠な基礎的な保全活動を支援するなど、農業者が取り組みやすい制度となるよう、国 において制度が改正(事業区分の細分化、交付単価の改正)されたことから所要の補正を行う。					
主な特定財源	農と環境を守る地域協働活動支援事業交付金:47千円(206千円)					
政策を必要と する背景及び 提案の経緯	集落の共同活動や環境保全活動による地域資源の保全をとおして、地域農業の発展や地域の振興を図る。					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等						

科 目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費
所 管	建設部 農政課					
事 業	3564	農業水利施設保全合理化事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】 地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事業期間	平成24年度～平成26年度			新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	3,500			1,500	1,750	250
補正額	2,343			600	625	1,118
補正後	5,843			2,100	2,375	1,368
補正予算額の 主な内訳	農業水利施設保全合理化事業負担金:1,250千円増(4,750千円)、農業水利施設保全合理化事業分担金返還金: 1,093千円皆増(前年度事業費確定に伴う瓶原土地改良区への返還金) 京都府が実施する府営農業水利施設保全合理化事業(大井手水路補修)において、府道木津信楽線暗渠区間 の老朽化に伴う改修費用が追加されたことに伴い所要の補正を行う。					
主な特定財源	農業水利施設保全合理化事業分担金:625千円(2,375千円)、農業水利施設保全合理化事業債:600千円(2,100 千円)					
政策を必要と する背景及び 提案の経緯	老朽化した農業用水利施設の機能診断や補修による長寿命化や安全性の向上を図ることにより、農業の構造 改革を推進するとともに、生産効率の向上及び競争力ある農業の実現に寄与する。					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等						

平成26年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	商工費	項	商工費	目	観光費
所 管	生活環境部 観光商工課					
事 業	3595	環の拠点事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	1章1【個性を活かした魅力ある地域文化の創造】歴史・文化の保全・活用					
事業期間	平成26年度から		新規・継続		新規	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	7,920					7,920
補正額						
補正後	7,920					7,920
補正予算額の 主な内訳	環の拠点創出事業活性化検討会委員報酬:315千円皆増、指導助言者謝礼:88千円皆増、費用弁償:15千円皆増、消耗品費:36千円増(48千円)、印刷製本費:30千円皆増、環の拠点事業実行委員会負担金:△484千円皆減 実行委員会による事業運営を想定していたが、環の拠点創出事業計画(平成26年1月策定)を推進するため、市の附属機関として木津川市環の拠点創出事業活性化検討会を条例により設置することとしたため、当初予算において計上していた実行委員会への負担金について、予算の組み替えを行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	山城町上狛南部地域の茶問屋街において、サイクリング愛好家のニーズを反映した拠点の整備及び地域の活性化を目指す。(平成25年度までの環の拠点創出事業費から事業を継承)					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	土木費	項	土木管理費	目	建築指導費
所 管	総務部 危機管理課					
事 業	3574	被災者住宅等支援事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間	平成25年度から		新規・継続		継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	1,500		1,000			500
補正額	497		331			166
補正後	1,997		1,331			666
補正予算額の 主な内訳	被災者住宅等支援補助金:497千円増(1,997千円) 当初、1件の申請を見込んでいたが、被災住宅再建工事(木津八ヶ坪)が1件見込まれることから、所要額の補正を行う。					
主な特定財源	京都府地域再建被災者住宅等支援補助金:331千円(1,331千円)					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	生活基盤となる住宅等に被害を受けた方が、早期に安定した生活を取り戻すことができるよう住宅等支援補助金を支給する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	土木費	項	河川費	目	河川維持費
所 管	建設部 管理課					
事 業	3523	内水対策事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章1【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】安心・安全、快適なまちづくり					
事業期間	平成23年度から			新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補正前	121,980				39,500	64,000 18,480
補正額	8,700					8,700
補正後	130,680				39,500	64,000 27,180
補正予算額の 主な内訳	内水対策工事費:8,700千円皆増 木津合同樋門排水ポンプ設備及び発動発電機の増設に伴う付帯工事(発電機用上屋設置、鋼管布設、管理用通路等)について、国土交通省との協議が整ったことから、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	内水対策として排水機能力を増強する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	消防費	項	消防費	目	災害対策費
所 管	総務部 危機管理課					
事 業	1941	災害対策事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章1【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】安心・安全、快適なまちづくり					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補正前	39,223				1,500	5,000 32,723
補正額	700					700
補正後	39,923				1,500	5,700 32,723
補正予算額の 主な内訳	コミュニティ事業補助金:700千円皆増 財団法人自治総合センターのコミュニティ事業助成金を活用し、自主防災組織の備品整備を図る。 (加茂町兎並西区自主防災会分)					
主な特定財源	コミュニティ助成事業助成金(地域防災組織育成助成事業):700千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	災害時に備え、防災倉庫等の配備を進める。また、自主防災組織の育成と充実を図る。					
市民参加の状況	自主防災組織の育成に努める。					
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	消防費	項	消防費	目	災害対策費
所 管	総務部 危機管理課					
事 業	3606	京都府防災訓練活動事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章1【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】安心・安全、快適なまちづくり					
事業期間	平成26年度			新規・継続		新規
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前						
補正額	7,260					7,260
補正後	7,260					7,260
補正予算額の 主な内訳	環境整備工事費:7,260千円皆増 京都府防災訓練の実施(平成26年8月31日)に向け、メイン会場となる木津川市中央体育館南側敷地の整地を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	京都府防災訓練の実施					
市民参加の 状況	地域住民参加型の訓練を行う。					
将来にわたる 効果等						

科 目	款	教育費	項	小学校費	目	相楽地方通級指導教室費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2141	相楽地方通級指導教室事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	1,307				530	777
補正額	800				422	378
補正後	2,107				952	1,155
補正予算額の 主な内訳	通信運搬費:82千円増(287千円)、教材用備品購入費:202千円増(302千円)、学校備品購入費:516千円増(596千円) 通級児童数の増加に伴い、新たに南加茂台小学校の空き教室を利用し東部分室を開設する。  【通級児童数の推移】 平成23年度:72名、平成24年度:92名、平成25年度103名					
主な特定財源	相楽地方通級指導教室事業費負担金:422千円(952千円)					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	言語、聴覚及び発達に障害のある児童を対象に、障害を改善・克服できるように指導や援助を行う。					
市民参加の 状況						
将来にわたる 効果等						



平成26年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	保健体育費	目	学校給食費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2494	木津学校給食センター管理運営事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	54,760					54,760
補正額	24,841					24,841
補正後	79,601					79,601
補正予算額の 主な内訳	学校給食センター調理員派遣業務委託料:24,841千円皆増 給食センターの調理員不足を解消し、給食の安定供給を図るため、調理員派遣業務委託を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	給食環境の整備を進め、学校給食を生きた教材として食育の推進を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	公債費	項	公債費	目	元金
所 管	総務部 財政課					
事 業	2521	地方債償還元金				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章3【まちづくりへの参画と協働の創造】新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	2,513,471				17,259	2,496,212
補正額	8,900					8,900
補正後	2,522,371				17,259	2,505,112
補正予算額の 主な内訳	長期債元金:8,900千円増(2,522,371千円) 平成24年度同意の府営農業水利施設保全合理化事業債において、借り入れ後の事業費の減、また、クリーンセンター整備事業債において、精華町負担金受入に伴い起債額が異動したため、繰上償還を行う。  【繰上償還内訳】 府営農業水利施設保全合理化事業債:1,100千円、クリーンセンター整備事業債:7,800千円					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	公債費負担の適正化及び平準化を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						